

災害・危機管理通報サービス（拡張）の優先配信について

災害・危機管理通報サービスでは、気象庁が提供している防災気象情報に基づく情報配信に加えて、2024 年 4 月 1 日より、災害・危機管理通報サービス（拡張）（※1）として、Jアラート（ミサイル発射情報等）及び Lアラート（避難情報）の配信を行っています。

防災気象情報はメッセージタイプ 43 を用いて、Jアラート及び Lアラートはメッセージタイプ 44 を用いて配信しています。現在、これらのメッセージタイプ 43 と 44 は、それぞれ 4 秒間隔で別々の時間スロットで配信していますが、メッセージタイプ 44 が、より優先度の高い情報を配信する際は、メッセージタイプ 43 の時間スロットを使用して、メッセージタイプ 44 を優先して配信できるよう改修を進めています。

メッセージタイプ 44 をメッセージタイプ 43 より優先して配信する具体的な条件は、以下の条件 1 及び条件 2 を同時に満たす場合です。ただし、メッセージタイプ 43 の時間スロットを使用してメッセージタイプ 44 を配信する場合でも、メッセージタイプ 43 の時間スロットを 2 回連続して使用することはありません。

- 条件 1：メッセージタイプ 44 で配信する情報が Jアラートである。
- 条件 2：メッセージタイプ 43 が最優先メッセージ（緊急地震速報・大津波警報・津波警報）を放送していない。

災害・危機管理通報サービスによるメッセージタイプ 43 と 44 の基本配信パターンと、メッセージタイプ 44 をメッセージタイプ 43 より優先して配信するパターンの例を図 1 に示します。メッセージタイプ 44 で配信する情報が Jアラートでない場合、つまり配信する情報が Lアラートの場合には、基本配信パターンに示すように、メッセージタイプ 43 と 44 をいずれも 4 秒間隔で配信します。メッセージタイプ 44 で Jアラートを配信する場合には、メッセージタイプ 44 をメッセージタイプ 43 より優先して配信するパターンに示すように、メッセージタイプ 43 の時間スロットを使用してメッセージタイプ 44 を配信することで、Jアラートの配信タイミングを早めます。

基本配信パターン												
時刻(秒)	t	t+1	t+2	t+3	t+4	t+5	t+6	t+7	t+8	t+9	t+10	t+11
配信	SLAS	MT44	SLAS	MT43	SLAS	MT44	SLAS	MT43	SLAS	MT44	SLAS	MT43
メッセージ	メッセージ		メッセージ		メッセージ		メッセージ		メッセージ		メッセージ	

メッセージタイプ44をメッセージタイプ43より優先して配信するパターン												
時刻(秒)	t	t+1	t+2	t+3	t+4	t+5	t+6	t+7	t+8	t+9	t+10	t+11
配信	SLAS	MT44	SLAS	MT44	SLAS	MT44	SLAS	MT43	SLAS	MT44	SLAS	MT43
メッセージ	メッセージ		メッセージ		メッセージ		メッセージ		メッセージ		メッセージ	

配信凡例		
SLAS メッセージ		サブメータ級測位補強システムが配信するメッセージ
MT43		メッセージタイプ 43（防災気象情報）
MT44		メッセージタイプ 44（Lアラート）
MT44		メッセージタイプ 44（Jアラート）

図 1 基本配信パターンとメッセージタイプ 44 をメッセージタイプ 43 より優先して配信するパターンの例